

# 骨粗鬆症しょうの早期発見・治療により骨折予防 運動療法を中心とした幅広いリハビリを提供



最新のCTスキャナーとエコー



人材と医療設備も充実のリハビリ室



理事長・院長 中島 浩芳

1989年愛知医科大学卒業。北海道大学整形  
外科入局後、美唄労災病院、釧路労災病院、市  
立札幌病院、同旭川病院、伊達日赤病院、岩見  
沢北翔会病院などを経て2008年4月光洋整形  
外科・内科・リハビリ院長に就任。2012年10月  
に現職就任。

外科・脳神経外科

「超高齢社会の今、ただ長寿なだけでなく、骨や関節などの病気を予防・治療し、生き生きと活動的に過ごせるよう健康寿命を増進する医療を目指したい」と中島浩芳院長。専門である膝疾患をはじめ、整形外科全般にわたる検査、治療、手術を行う「小牧牧では数少ない有床診療所である。札幌の連携医療機関からの出張医による脊椎外来とスポーツ外来も開設、高度な手術が必要な場合はこれらの医療機関への入院も可能。

高齢者に特に多い病気である「骨粗鬆症しょう」への積極的な取り組みが大きな特色。この病気は骨がスカスカになり骨折しやすくなる。高齢者の骨折は日常生活動作（ADL）を低下させ、さらには寝たきりになる危険性を高くする。骨粗鬆症しょうの予防、早期発見・治療を行い、骨折を予防することが大切となる。そのため精度の高いDXA法を用いた骨密度測定装置による定期的な骨密度検査を実施、今年8月末現在約1,000人が半年から1年ごとに継続して検査を受け、骨粗鬆症しょうの予防、治療をしている。

業療法士4人、言語聴覚士1人の充実したスタッフで入院患者はもとより外来患者にも対応する。膝・腰痛等の整形外科疾患への運動療法のほか、脳梗塞等の脳血管疾患や神経難病のリハビリにも幅広く対応する。会社員等がお昼休みにリハビリができるよう、平日正午〜午後1時半の時間帯も物理療法を実施。また、入院患者の早期退院を目指し、日曜・祝日も入院リハビリを実施している。

今年9月に高画質、低被ばくの最新型16列/32スライスCTとコンパクトながら高機能の超音波診断装置（エコー）を導入。特にエコーは、検査だけではなく、肩こり等の痛みの治療で近年脚光を浴びているエコーガイド下での「筋膜リリース注射」に活用している。

内科では生活習慣病の診療経験が豊富な医師を配置し、幅広い診療に対応する。脳卒中等によって生じる手足の筋肉のつっぱり（痙縮けいしゆく）の緩和に効果のあるボトックス治療も実施。

通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所の介護保険サービスも行っており医療、介護の両面から高齢者の在宅生活を支援している。

整形外科・内科・リハビリテーション科

医療法人社団 生き生き会

光洋いきいきクリニック

苫小牧市光洋町1丁目16番16号 ☎(0144)71-2700

ホームページ <http://www.ikikikai.com/>

診療時間／  
整形外科 月・火・水・金 / 8:30～12:00 13:30～17:00  
木・土 8:30～12:00  
内科 月・火・木・金 / 9:00～12:00 13:30～17:00  
水 / 9:00～12:00

休診日／  
整形外科 / 日・祝日 内科 / 土・日・祝日

